



minä perhonen × ISETAN SHINJUKU presents

Dear Friend, Department
Dear Friend, Department
Dear Friend, Department

2018年3月28日(水)～4月2日(月)

プレスレビュー 3月28日(水) 9時～10時

@伊勢丹新宿店本館7階=催物場

温もりのある暮らしのための、 小さなデパート。

ミナ ペルホネンが、伊勢丹新宿店のなかに小さなデパート「Dear Friend, Department」を期間限定でオープンします。“Dear Friend”という名の通り、コンセプトにしたのは「大切な人を思う気持ち」。親友や家族のことを考えながら選ぶ、日々の暮らしに寄り添うモノ。ファッションのみならず多様なフィールドから、心ときめく魅力的なアイテムを丁寧につくり続けてきたミナ ペルホネンの新しい世界をお楽しみください。

BABY & KIDS

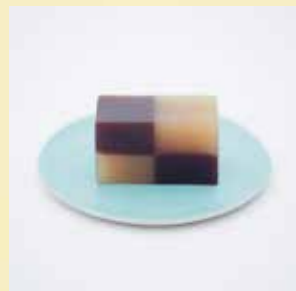
ミナ ペルホネン人気のファブリックを大人と同じく子ども用にもオリジナルで展開し、親子でお揃いのスタイリングが楽しめるようなラインナップをご用意。また、ベビー用にはお宮参りなどのハレの日にぴったりのセレモニードレスをつくりました。そのほか使い勝手の良いバッグ類は、大人用、子ども用にも取揃えています。



2WAYの使い勝手の良いストラップで、小さなお子さまのお出かけにおすすめ。ママバッグ38,880円。
極細の糸で織られたコットンシルクの素材に「flower cake」の総刺繍を施したセレモニードレス。86,400円。

FOODS

「とらや」や「ピエール・エルメ・ジャパン」など、国内外のトップブランドとのコラボ商品のほか、ミナ ペルホネンが運営する青山のショップ「call」で取り扱うさまざまな食材も同時に紹介。素材から吟味を重ね、味だけでなく、目でも楽しめるラインナップは、贈り物にも最適です。



あるがままの姿の美しさを感じる「雲」 callのグロサリーより、素材の旨みをそのままに閉じ込めた瓶詰め。家と庭のスパイス。810円～。
「光雲」 3,888円。

WOMEN

これまでのアーカイブテキスタイルのなかから、代表的なプリントや織りを厳選。それに刺繍を重ねることで、新鮮で躍動的ながらも、どことなく懐かしさを感じさせてくれるデザインが生まれました。洋服のほか、専門ブランドとコラボしたバッグや靴下などの雑貨も取り揃えています。



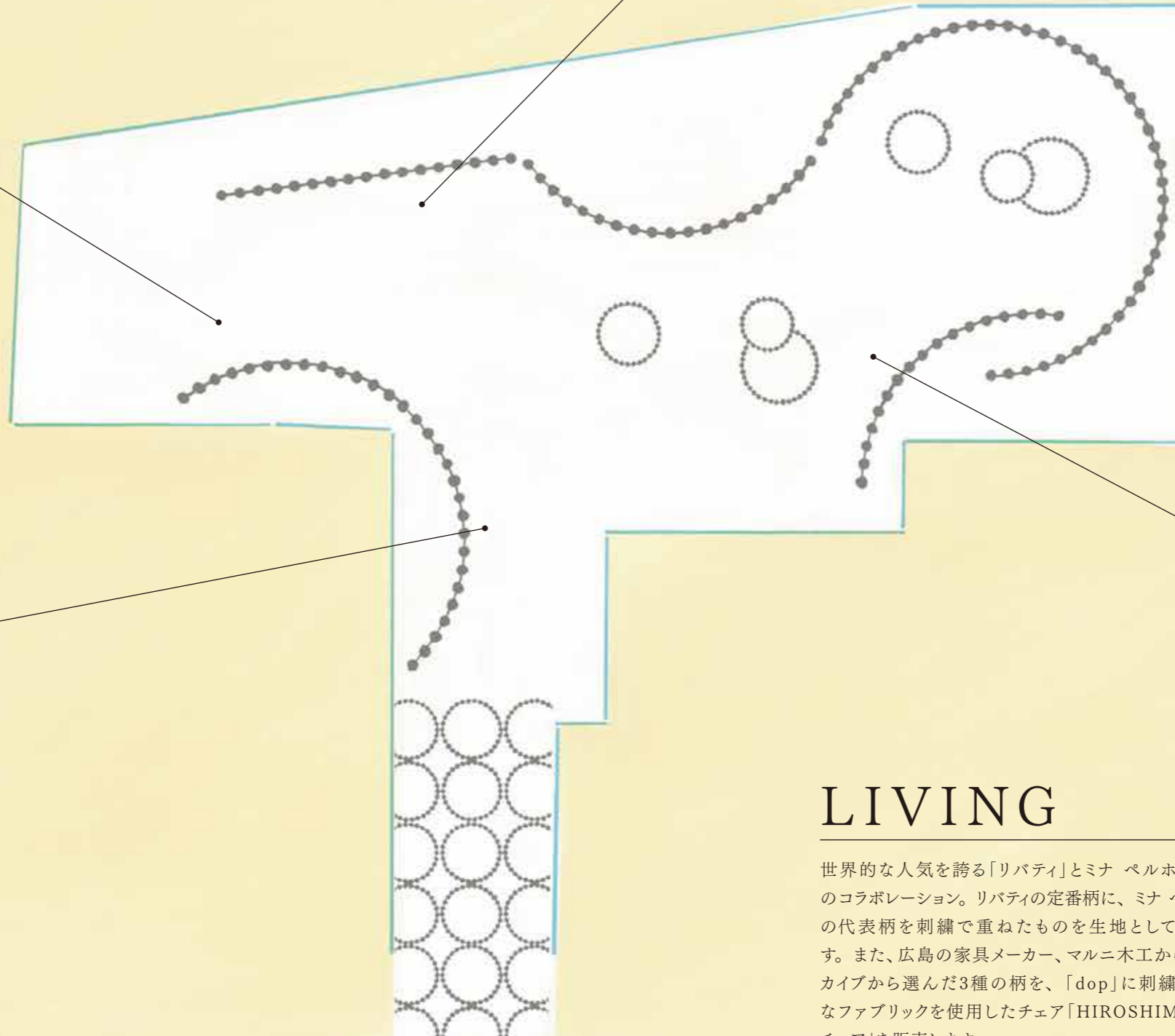
リネン100%で、着心地の軽いコート。「hoshi*hana +land theater」84,240円。



ミナ ペルホネンが初めてPORTERとコラボレーション。「tambourine」柄をまとったバッグは機能性も十分。デイバック 36,720円。ポーチ8,640円。



ポップな色合いが気持ちを明るくしてくれるアンティバストとのコラボ靴下。各2,970円。



LIVING

世界的な人気を誇る「リバティ」とミナ ペルホネンが初のコラボレーション。リバティの定番柄に、ミナ ペルホネンの代表柄を刺繍で重ねたものを生地として販売します。また、広島の家具メーカー、マルニ木工からは、アーカイブから選んだ3種の柄を、「dop」に刺繍した特別なファブリックを使用したチェア「HIROSHIMA アームチェア」を販売します。



カスタムオーダーで自由に選ぶ、3種の張地と3種の樹種。HIROSHIMA アームチェア landscape series ビーチ材 140,400円、オーク材 177,120円、ウォルナット材 191,160円。



1875年創業の老舗デパート、リバティがオリジナルで製作・販売する花柄生地に、ミナ ペルホネンの柄を刺繍。9,720円/m～。



独自の世界観を描き出す、愛らしいぬいぐるみたち。nuno*ito asobi×ミナ ペルホネン 16,200円～。

モノを大切に思う気持ちが、暮らしを豊かに彩る。—— 皆川 明

「子供の頃、デパートで家族とともに過ごす時間は、日常を灯す“ハレのひとつ”でした」

大切な人とともに、豊かな暮らしのあり方に触れる場所。そんな幼少期に抱いたデパートへの思いを胸に、ミナ ペルホネンを率いる皆川 明は、この「Dear Friend, Department」を通してあらためて周囲の人々を思いやり、環境を豊かに彩るモノの大切さを伝えたいと考えている。

さらに皆川が強調するのは、今回共にもものづくりに取り組むパートナーの存在だ。

「今回、ご一緒させていただく方々は、ものづくりに対する姿勢、確かな品質はもちろんのこと、私自身が日常のなかで愛用し、大切に使っているモノの作り手です。日本のものづくりの奥深さとその可能性に、改めて気づかせていただく機会となりました」

20年にわたるキャリアを振り返るように、2000種類を超えるミナ ペルホネンのこれまでのアーカイブテキストから、「Dear Friend, Department」のためだけにプリントと刺繍を重ねたスペシャルファブリックを

用意。さらにファッション、フード、キッチン、インテリア、ベビー&子供用品と、衣食住にまつわる幅広いアイテムを取り揃えた。

使い手の立場に立ち、アイテムの別なく、素材のひとつひとつを大切に吟味し、製作の細かなプロセスまでも丁寧に取り組むことがものづくりの根幹を支え、きちんとつくられたモノを大切に作る心が、暮らしや大切な人と時間を豊かに包み込んでいく。『Dear Friend, Department』は、そんな新しい気づきを与えてくれる場所になることを目指していく。



皆川 明 / 1967年東京生まれ。95年に自身のファッションブランド「ミナ」を設立。2003年にミナ ペルホネンに改称。オリジナルの生地による服づくりを軸に、時代や流行に左右されずに色褪せることのないデザインを追求する。近年は、創作の幅を広げ、インテリアファブリックから家具、陶磁器など、暮らし全体を彩るものづくりに取り組む。クヴァドラ（デンマーク）、リチャード・ジノリ（イタリア）など、海外の著名ブランドとの協働も多数。

会場デザインについて

Dear Friend, Departmentの会場デザインを担当するのは、家具から建築に至るまで、暮らしの空間を多数手がけるデザイナーの小泉誠。皆川と初のコラボレーションとなる本プロジェクトでは、素材を大切に作るミナ ペルホネンの思想を受け継ぎ、再利用が可能なダンボールや発泡スチロールを什器に利用。また、「tambourine」や「dop」など、ミナ ペルホネンの代表的な絵柄をモチーフに、美しい曲面が会場全体をやさしく包み込む。

Dear Friends, Department

2018年3月28日(水) ~ 4月2日(月)

10時30分~20時 会期中無休 入場無料

最終日18時まで

プレスレビュー

2018年3月28日(水)

午前9時~午前10時

(受付8時45分)

伊勢丹新宿店本館7階=催物場 東京都新宿区新宿 3-14-1 TEL. 03-3352-1111(大代表)

※初日のみ、混雑緩和のため入場制限を実施いたします。詳しい販売・入場方法につきましては、3月21日(水・祝)10時30分よりウェブサイト(<http://i.isetan.co.jp/shinjuku/news>)にてお知らせいたします。

プレスの問い合わせ先:

株式会社三越伊勢丹 伊勢丹PR 蛭名藍子

TEL. 03-3225-2474

ebina_aiko@isetanmitsukoshi.co.jp

デイリープレス 川村美帆

TEL. 03-6416-3201

mihokawamura@dailypress.org

一般の問い合わせ先:

伊勢丹新宿店

TEL. 03-3352-1111(大代表)

www.isetan.co.jp